



Shibuya  
Mitake  
Salon



Shibuya Mitake Salon (vol.150)

# 戸澤采紀

## ヴァイオリンリサイタル

第85回日本音楽コンクール最年少優勝を  
果たした戸澤采紀の“今”  
構成美と幻想美が織りなす渾身のプログラム

## Piano Violin



森田悠介 (MORITA Yusuke) Piano

第58回ポセール音楽賞コンクール第2位、メンデルスゾーン・ドイツ音楽大学コンクール、カンピリオス国際コンクールにてディプロマ。

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、2018年に渡欧。イェルク・デームス氏の推薦を受け、コンラート・エルザー教授の元、ドイツ国立リュベック音楽大学大学院ソピアナ科修士課程を満点で修了。現在ピアニストとして活動。ハンブルク在住。

2023年

12月15日(金)

開場:18:30/開演:19:00

入場料:【限定50名様】会員4,500円(座席指定可) / 一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

<プログラム>

ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタ 下短調

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第1番 上長調 Op.78《雨の歌》

.....  
シェーンベルク:幻想曲 Op.47

シューベルト:幻想曲 上長調 Op.159, D.934

\*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

戸澤采紀 (TOZAWA Saki) Violin

第85回日本音楽コンクール最年少優勝、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール最高位。これまでに玉井葉採、ジュラルム・ブーレ、保井頌子、ドンスク・カン、堀正文の各氏に師事。江副記念リクルート財団第48回奨学生、2019年度東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。使用楽器は、文京楽器の協力によりBeare's International Violin Societyから貸与されているMatteo Goffriller。東京藝術大学入学後渡独し、現在リュベック音楽大学でダニエル・ゼベック氏に師事。

photo:JUNICHIRO MATSUO



●ご予約・お問い合わせ株式会社 ILA (渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日 10:00-18:00)、070-2168-8484(時間外可) Webサイト: <https://onl.sc/mhU5n3q>

(美竹満花さろん)



# 戸澤采紀 ヴァイオリン リサイタル

123  
Shibuya Mitake Salon (vol.150)

2023年12月15日(金)

開場 18:30/開演 19:00 入場料:会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

## 第85回日本音楽コンクール最年少優勝を果たした戸澤采紀の“今” 構成美と幻想美が織りなす渾身のプログラム

2016年、第85回日本音楽コンクールのバイオリン部門で、当時15歳という若さで戸澤采紀氏が優勝したことで注目を集めた。

ヴァイオリニストの両親(父親は東京シティ・フィルのコンサートマスターを務める戸澤哲夫氏、母親もプロのヴァイオリニスト)のもとに生まれ、幼少期からオーケストラに触れる機会も多かったそうだ。

彼女の紡ぎ出す音色はまだあどけない少女とは到底思えないほどダイナミックでスケールの大きな音楽だったが、幼少期から触れていたオーケストラのイメージが彼女の中に明確にあったのだろう。それだけではなく、微細な音程感やテクニクも確かなもので、聴衆は驚きを隠せなかった。偶然にも渋谷美竹サロンがちょうど設立するタイミングでもあり、彼女の演奏を聴いたのは運命的な出会いだったのかもしれない。

時は経て、戸澤氏は今年7月、リューベック音楽大学を卒業したそうだ。さらなる研鑽を積み彼女はティポール・ヴァルガ国際コンクール最高位で実績を残し、江副記念リルート財団スカラシップコンサートへのご出演、反田恭平プロデュースのJNOへの参加など、幅広く活躍をされている。

すっかり洗練された淑女へと成長を遂げ、何か音楽家として掘込んだものがあるようだ。

今回、初登場となる本公演では、15歳で日本音楽コンクールに最年少で優勝して以来7年という、戸澤采紀の“今”を表現する渾身のプログラムが組まれている。演奏に寄せてメッセージをいただいたので紹介したい。

「Gで始まりCで終わる今回のプログラムは、私にとって一つの夢でした。大学を卒業する節目の年、自分が勉強してきたこと、今勉強していること、自分の敬愛する師匠たちのルーツ、色んな偶然が必然となったプログラムです。

そして今回は、待ちに待った私の渋谷美竹サロンデビュー



photo: JUNICHIRO MATSUO

一でもあります。空気の繊細な動きさえ感じられるこの個人的な空間は、人と音を有機的に“ファンタジー”してけるとおもいます。みなさまとともに、このマスターピースたちを旅できること、心より嬉しく思います」(戸澤 采紀)

ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタ 短調

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 Op.78《雨の歌》

シェーンベルク:幻想曲 Op.47

シューベルト:幻想曲 ハ長調 Op.159, D 934

プログラムすべてがメイン級なことにも驚かされるが、戸澤氏がこれまでの研鑽の結晶として向き合ってきた大切な作品たちを、独自の審美眼によって選択されており、プログラミングの構成美が伝わってくるだろう。

“G”(ト短調)で始まり“C”(ハ長調)で終わるという、ドミナントからトニックへの音楽において原則となる流れを意識した、何とも美しい流れである。

ト短調は暗い響きでありながら、どこか地に足のついたダイナミックな響きが魅力的な調で、ハ長調は基本となる調でありながら、最後のフィナーレなどにも相応しい、どこか開放的な調として知られている。さらには調性のみならず、作曲家にとって最も自由な形式で書かれたシェーンベルクとシューベルトの“幻想曲”をセレクトし、統一感を生み出している。

ヴァイオリンは特に早熟の天才が多いと言われているが、花開いてからその天才たちが本当の意味でどんな音楽家になっていくか…人間的な成熟、音楽家としての円熟、そうした真価が問われてくるものである。これまでの彼女の集大成ともいえるプログラムでありながら、これから羽ばたいていく意気込みも感じられる…まさに戸澤采紀の音楽家としての“今”を体験することになるだろう。(渋谷美竹サロン)



世界に通用する才能溢れる  
トップアーティストが  
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのぐ  
生演奏の醍醐味、  
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、  
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。  
渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する  
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、  
三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。  
クラシック音楽サロン、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分

大好評につき  
サロンメンバーズ  
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

